



ほうへいかいほう

Vol.73 2014.9.15

豊平會報

北海学園大学同窓会 ● 編集責任者 / 高田哲也 〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40 TEL 011-841-1161



C O N T E N T S

- 平成 26 年度評議員会開催 / 支部長・支部評議員交替 … 2
- 輝く北のまち紹介リレー 北広島市 …………… 3
- 還暦を迎えた対東北学院大学総合定期戦 向田直範教授 … 4
- 研究室のいま 田中綾教授 …………… 5
- 卒業生奮闘記 …………… 6
- 現役学生インタビュー …………… 7
- 同窓会結成 60 周年記念式典・祝賀会 …………… 8
- 平成 26 年度総会・懇親会「同窓の夕べ」ご案内 …………… 9
- 支部紹介 静内支部 …………… 10
- 支部だより …………… 11
- 第 7 回ホームカミングデーご案内 …………… 12
- OPEN SPACE …………… 13
- 平成 25 年度事業報告 / 26 年度事業計画 …………… 14
- 平成 25 年度収支決算書 / 監査報告書 / 26 年度予算 … 15
- クラブ・サークル活動通信 / 事務局からのお知らせ …… 16

アメリカンフットボール部

平成26年度評議員会開催

事業計画など原案どおり承認



また、出生率低下による少子化問題、私学を取り巻く環境も一段と厳しいものがございます。

皆様のご支援、ご協力を賜りまして、この難局を乗り越えてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。」との挨拶があり、議長に板垣俊夫氏（法学・昭和46年卒）、副議長に桑山和夫氏（経済・昭和46年卒）、議事録署名人に卒業期から清野満氏（経済・昭和45年卒）と地域・職域支部から福田和夫氏（経済・昭和34年卒・道南支部長）を選出し議事に入りました。

平成26年度同窓会評議員会が6月25日（水）午後6時から札幌パークホテルで開催された。卒業期77名、地域・職域支部47名の評議員計124名（委任状含む）と同窓会役員29名が出席した。

開会后、物故会員に対する全員での黙祷ののち、次第により会議に入った。森本正夫同窓会会長からは「日本を取り巻く現況は色々と激動しており、原発問題、経済面では円安等、日本経済は大変厳しい状況下にあり、

説明が行われ、原案どおり承認された。

第3号議案

60周年記念事業について、事務局の大橋孝行より、一、記念式典・祝賀会の開催、二、記念誌の発刊について別紙配布資料に基づき説明が行われ、原案どおり承認された。

第4号議案

教育振興資金（奨学金）について、事務局の大橋孝行より別紙配布資料に基づき説明が行われ、原案どおり承認された。

第5号議案

その他 なし
（評議員会資料は14・15頁に掲載）

第1号議案

平成25年度事業報告並びに収支決算について、事務局の大橋孝行と佐々木啓明から報告があり、それを受けて会計監事を代表し横谷貞夫氏（短大土II・昭和39年卒）から監査報告が行われ、原案どおり承認された。

第2号議案

平成26年度事業計画（案）並びに予算（案）について、事務局の大橋孝行と佐々木啓明より



支部長・支部評議員交替

支部長交替

グリークラブOB会

田村 英治氏 ↓

沖本 英昭氏（昭和51年工学部卒業）
平成26年4月1日付

山岳部OB会

江口 功氏 ↓

山際 廣昭氏（昭和32年経済学部卒業）
平成26年4月19日付

北門会

大内 修吾氏 ↓

後藤 哲氏（昭和59年経済修士課程終了）
平成26年4月24日付

帯広信用金庫支部

高松 弘幸氏 ↓

松井 浩行氏（昭和59年経済学部卒業）
平成26年5月10日付

写真部OB北彩会

泉澤 宏昭氏 ↓

成田 民治氏（昭和44年法学部卒業）
平成26年5月17日付

北翔会

東 彰氏 ↓

工藤 康雅氏（昭和53年工学部卒業）
平成26年6月26日付

経五期会

中村 孝氏 ↓

藤野 直也氏（昭和33年経済学部卒業）
平成26年7月4日付

札幌市役所支部

上野 輝佳氏 ↓

鈴木 和弥氏（昭和61年法学部卒業）
平成26年7月9日付

支部評議員交替

山岳部OB会

江口 功氏 ↓

山際 廣昭氏（昭和32年経済学部卒業）
平成26年4月19日付

北門会

大内 修吾氏 ↓

後藤 哲氏（昭和59年経済修士課程終了）
平成26年4月24日付

写真部OB北彩会

泉澤 宏昭氏 ↓

成田 民治氏（昭和44年法学部卒業）
平成26年5月17日付

北翔会

東 彰氏 ↓

工藤 康雅氏（昭和53年工学部卒業）
平成26年6月26日付

札幌市役所支部

上野 輝佳氏 ↓

鈴木 和弥氏（昭和61年法学部卒業）
平成26年7月9日付

全国支部長会議中止のお知らせ

平成26年度全国支部長会議は、60周年記念式典と重複するため今年度は中止といたします。

輝く北のまち 紹介リレー

きたひろしまし
④北広島市

～住みやすさランキング道内第1位～



人口：59,763人
面積：118.54km²

北海道内の自治体を訪問し卒業生とのインタビューを通じて、まちのご紹介をしながらまちの魅力を再発見していく企画の第4回目は北広島市です。

広島市の「平和記念公園」の「平和の灯」を分火させていただいた、優しい光りがガラスの中で静かに輝きを放つ庁舎玄関右手のコーナーを拝見しつつ、夏の日差しが降り注ぐ7月3日に北広島市の上野正三市長を訪問しました。

～北広島市のあゆみ～



昭和45年経済学部経済学科卒業（17期生）

北広島市は、明治17年広島県人25戸103人が一村創建を目指し、原始の森に開拓の跡をおろしてから、今年は130年の節目の年にあたります。

国の特別天然記念物として指定されている「野幌原始林」の所在地は、北広島市にあります。

明治32年政府はこの原始林の払い下げを行おうとしましたが、環境保全そして水源涵養林と

しても貴重なこの原始林を、後世に残すべきとの先人の運動が現在の「野幌原始林」となっています。

～平和への願いを次の世代へ～

平成8年9月1日北広島市の市制施行を記念して、広島市の広島平和記念公園から「平和の灯」が分火されました。この分火された「灯」は、今も本市の平和の灯公園にて燃え続けております。

このように広島市から平和への意志を受け継ぎ、ともに世界の平和と友好を願っております。また、子ども達の交流を通じた事業を実施するなど広島市とは繋がりも深く、毎年、広島市の平和記念公園で執り行われる平和祈念式典に、北広島市の小中学生の代表が招かれております。

戦争の悲惨さと平和の尊さを学ぶ貴重な体験です。また、この体験を全校集会で報告するなど平和教育にも力を入れています。

また、毎年、北広島市と市議会では、広島赤十字・原爆病院と原爆養護ホームに、北海道のグリーンアスパラをお送りしています。

北の地の開拓のため、遠く北海道に渡ってきてくださった広島県の皆様の故郷で現在も原爆症の治療を継続されている方々に、少しでも元気になっていただきたいという思いから始まり今年で38回目となります。本事業は関係機関の皆様からご協力をいただいで実施しており、今後も継続して参ります。

～北海道に稲作を……中山久蔵翁の熱い思い～

明治6年、大阪出身の中山久蔵翁が苦勞の末に「赤毛種米」（ゆめぴりかの祖先）の収穫に成功して、北海道に稲作を根付かせる夢を叶えました。北海道寒地稲作発祥の地でもあります。

久蔵翁は、この種もみと栽培技術を開拓民に無償で分け与え、全道に米作りが広がっていきました。

ひとつの成果を個人で独占せずに、多くの農民に無償で広めた事は本当に素晴らしいことであり、私達も久蔵翁の姿勢を学ばなければならぬと思います。

このように先人の努力に感謝するとともに、本市では、先人の

思いや知恵を教育に取り入れているところであります。

～安全で安心なまち～

近年、自然災害が多発しております。北広島市は過去、河川の氾濫による洪水の被害が多くありましたが、地震の被害は少ないことから、安全なまちと言えます。しかし防災対策として、市職員には地震と水害に対する訓練を毎年行い、また、地域防災の拠点作りも進めております。

災害備蓄品について食料はもちろんのこと、冬期間の寒さ対策も充実させており、備蓄目標を3年で達成することを目指しております。

東洋経済の「2014版 都市データブック」によりますと、病院・病床数、介護施設・定員数、出生数、財政力指数等を指標として順位付けされた、総合順位で北広島市が北海道で1位となりました。特に都市の安心度においては高い数値を得ました。

今年度から、定住人口、交流人口の増加に力を入れております。「おためし移住」では、現在は埼玉県から来ている方に北広島市の魅力をインターネットで発信してもらっております。

「ファーストマイホーム支援制度」は、50才以下の子どもがいる夫婦で、市内に家を求めた方に50万円の支援を行うものです。問い合わせも300件を超えるなど、順調な滑り出しを見せております。

また、子育て世代に対しては、子ども医療費助成の充実、学校の耐震化の強化やICT化など、学校教育環境の整備・充実を図っており、子育てに重点をおいた「まちづくり」を進めております。

～恵まれた立地条件と企業誘致～

「希望都市」、「交流都市」、「成長都市」の3つの都市像を実現するために、21世紀の北広島市のまちづくりを市民の皆様と共に進めております。

国道、道道、高速道路、鉄道などの充実した交通網と、札幌までJRで16分、新千歳空港まで20分という利便性の良さを前面に打ち出して、企業誘致活動を行っており、これに恵まれた自然環境と住環境の良さがプラスされ、北広島市の魅力となっております。

今年度完成の新工業団地においては、交通環境の良さが注目されて引き合いがきております。このまちに住み、そして働くということ、また自主財源確保の観点からも企業誘致を進めるなど、活力に溢れるまちづくりを目指し、全力で取り組んでおります。

～北海学園大学とのご縁～

大学時代には、準硬式野球の部活動に力を注ぎました。当時、北海道で負けることは許されないという雰囲気でしたので、日々練習に明け暮れました。

3年生の時には全国大会で準優勝もしましたよ。当時の先輩や同期の仲間たちとの繋がりは今も続いております。

いま健康で仕事ができるのも、学生時代に鍛えられたお蔭と思っておりますが、出来ればもっと勉強しておきたかったですね…

北海学園大学の卒業生で、現在、道内市町村の首長となっているのは9名です。毎年「学園首長会」を開催し、まちづくり等に関する情報交換の場としております。同窓としての絆には格別な思いがありますよ。

また北広島市役所には北海学園大学の卒業生が現在73名おります。毎年2～3名の方が採用されています。彼らには「人生意気に感じて」を忘れず、今後の活躍を期待しています。

(取材・文責 同窓会幹事 成田真利子)

還暦を迎えた 対東北学院大学総合定期戦

体育会会長・法学部教授 向田 直範



第60回北海学園大学対東北学院大学総合定期戦が、6月20日(金)から22日(日)の3日間、仙台で行われた。定期戦期日前に既に7敗していたので、敗戦は覚悟していたが、戦績は2勝17敗1分けという予想外での大差の敗戦であった。

総合定期戦は本学からの呼び掛けに東北学院大学が応えるという形で始まった。出発点から東北学院大学の胸を借りる形で始まったのである。体育会会長の間に恩返しにせめて1勝をと願っていたが、誠に残念なことに60連敗という結果となってしまった。

スポーツの交流から始まった両校の交流は、今日では、スポーツの分野に止まらず、様々の分野における情報交換や教育や入試についての交流までに及んでいる。例えば、2001年に本学大学院法学研究科と東北学院大学大学院法学研究科との間で単位互換協定および教員派遣協定が結ばれ、隔年ごとに両研究科の教員が相手方の研究科で講義することで院生の多様なテーマに対応する体制が作られた。2004年には、両大学所在地の通勤圏内へ転勤する学生に学業の継続を保证するための単位互換協定が本学2部経済学部・経営学部・人文学部と東北学院大学夜間主コースとの間で結ばれて今日に至っている。本年5月には、東北学院大学、青山学院大学の両大学に加え、本学もJR仙台駅2階中央コンコースにて開催された“駅ナカ学ING”という合同オープンキャンパスに初めて参加し、東北地方の学生の入試相談に対応し好評を博したところである。

両校のこのような深い結びつきを考えると、定期戦からの撤退ということは考えられないであろう。60回ということは人間でいえば還暦を迎えたというこ



とである。来年は、一歳になったつもりでこれまでの戦績はゼロとし、新たな気持ちで定期戦に臨んでもらいたい。

定期戦に勝利するための良策はない。地道な努力が求められる。まず、スポーツをする環境を整備することであるが、施設の充実が何よりも優先されねばならない。一つの屋内体育館を授業とクラブで使用するのは無理がある。体育館自体が老朽化しているのに加えて、混雑度は異常である(とりわけ冬季には)。かつて総合体育館構想があったと聞いているが、その構想を早急に具体化してほしいものである。

総合定期戦50回記念大会には学生部長として参加し、60回大会まで体育会会長として毎年参加してきたが、今大会をもってバトンを次期会長へ渡すことになる。OBの皆さんには、大変お世話になったにもかかわらず、力及ばず60連敗となったことをお詫びするとともに、今後とも北海学園大学の体育会およびクラブへの応援と協力をお願いして筆を置くことにする。





人文学部日本文学学科教授

田中 綾

——担当科目 学部 日本文学史Ⅱ、日本文学特論Ⅱ、人文学基礎演習、演習、等
大学院 日本文学特殊講義Ⅱ、日本文学特殊講義演習ⅡA、ⅡB

■略歴 2001年北海学園大学大学院文学研究科修士課程修了、2008年博士(文学)(北海学園大学)。短歌評論や書評を中心とした文筆業を経て、2008年より本学准教授、2014年より本学教授。
・主な著書:『権力と抒情詩』(ながらみ書房、2001年)。共著に、『作家と戦争 太平洋戦争70年』(河出書房新社、2011年)、現代短歌研究会編『(殺し)の短歌史』(水声社、2010年)、等
・社会活動:北海道文学館評議員、三浦綾子作文賞選考委員、「さっぽろ市民文芸」評論部門選考委員、等
・学会/協会活動:日本近代文学会、日本社会文学会、日本文藝家協会、現代歌人協会

恩師に学んだことを、ゼミ生に

実は私の両親も本学の同窓生です。父は、1965年に経済学部2部を卒業。柴田義人先生(本学名誉教授)のゼミで学んだそうです。母は、北海短期大学から編入して、父と出会ったのだとか。両親ともに元気で、今、こうして同窓会報に寄稿できるご縁を、本当にありがたく感じております。

私が〈短歌〉という文芸に出会ったのは、学生時代でした。当初は短歌を実作していましたが、創作者としては才能に乏しく、いつしか、評論や短歌史年表を作る地味な作業に居場所を見出していきました。

フリーライターをしていた1995年に、第13回現代短歌評論賞(短歌研究社)を受賞。その選考委員の一人・菱川善夫先生のもとで学びたく、本学大学院文学研究科の1期生として社会人入学しました。

菱川先生は現代短歌評論の第一人者という存在で、あたたかく、惜しみなく後学を育てて下さいました。短歌評論を手がける人は少なく、明治・大正から直近の現在まで、ときには『万葉集』に関する原稿依頼まで届いてしまうので、必死で知識を得て、読み、書くという院生時代を過ごしました。

菱川先生は、現代短歌研究会など院生の発表の場を創出して下さり、また、褒めて励まし高きへと導く、すぐれた教育者でした。現在、本学大学院修士課程在学中の山田航さんは、そんな菱川先生の仕事を継承してくれる歌人・評論家でもあり、エールを送っているところです。

さて、私自身の研究テーマは、言論統制(昭和の戦時下とGHQによる占領期)と短歌ですが、太平洋戦争下に出版統制にかかわった歌人逗子八郎(本名は井上司朗)研究では文学史を横断するような史/資料を発見でき、地道な

交通整理をしているところです。

日本文学学科の専門科目「創作論」では、短歌創作と合評を行い、学生たちと合同歌集を製作しています。アクティブ・ラーニングの手法によるチーム学習で、回を重ねるにつれ、着実に学生の短歌が上達していくさまに立ち会えることは喜びです。しかも、ここから歌人も誕生しました(後述)。

ゼミでもチーム学習を取り入れ、小説の創作活動を行っています。思い返せば、本学に着任でき、ゼミを担当できるようになったとき、2つの夢を持ちました。1つは、「ゼミで文芸誌を創刊する」。この夢は、同窓生の方々に印刷・製本をご協力いただき、1部ゼミ誌「A207」(株式会社アイワード)、2部は「道憬」(中西印刷株式会社)創刊を実現できました。年1回の刊行で、札幌市中央図書館や北海道文学館でも常時ご覧いただけます。

そして2つ目の夢は、「田中綾ゼミから、アナウンサー、そして作家を輩出する」。さすがにハードルは高いかと思っておりましたが、なんと、早々に実現してしまいました。

アナウンサーは、現在、NHK札幌放送局キャスターの工藤恵里奈さん(人文15期生)。そして作家は、桜木紫築さん(=筆名。人文16期生)。富士見書房の第1回ラノベ文芸賞で審査員特別賞を受賞し、その受賞作『Electro Fairy』が、11月に単行本で刊行されるそうです。

さらに、前述の「創作論」を経て歌人も誕生しました。桜木さんと同期の石井僚一さんが、今年度の第57回短歌研究新人賞を受賞。受賞作は、雑誌「短歌研究」9月号に掲載されています。

ゼミのメンバーは卒業後も交流しているようですが、21年目を迎えた人文学部全体の同窓会も、実現できるといいですね。



5分で本を紹介するビブリオバトルを終えて



ゼミ誌創刊号を手に、記念撮影

ガフバルOB・OGをフォローアップ

卒業生奮闘記

(株)クウエスト 取締役常務

澁谷 政憲 氏

Masanori Shibuya

経済学部経営学科
26期 1994年卒



■プロフィール

根室生まれ。大学卒業後、(株)ヤマグチ(現 ジェスネット(株)東京支店営業部を経て、2001年に(株)クウエストに入社。現在は、弊社スクール事業部である日本カイロプラクティックドクター専門学院札幌校の事務局長としてカイロプラクターをはじめ代替医療師の育成に尽力。[北海学園大学 OB 異業種ネットワーク 世話人、(一社)北海道代替医療協会 監事、カイロプラクティックドクター、産業カウンセラー]

カイロプラクティックで人の身体をよくしたい

私は大学卒業後、任天堂のゲームソフト、ハードを扱う卸売企業に就職し、東京で営業職に就きました。パブルが弾けたとは言えまだまだ勢いのあった時代、毎晩終電に駆け込む過酷な日々。営業成績は悪くありませんでしたが、

「これは自分自身の実力なんだろうか」

「どうせなら、自分の興味のある仕事に就きたい」

そんな思いが募り、もともと「人の身体をよくする」ことに興味があった私は、カイロプラクティックの世界へと飛び込みました。

日本カイロプラクティックドクター専門学院札幌校で学び、



現場で5年ほど経験を積んだ後、再び学校に戻り、今はカイロプラクターの養成に携わっています。当校から優れたカイロプラクターを輩出し、直営院のRAKUNEをはじめとするカイロ施術院で多くの方を癒すことができると考えています。

代替医療の地位向上を目指して

私がカイロの勉強を始めた頃はカイロの知名度は低く、「ホックairoのカイロのこと?」と聞かれることが度々あったほどです。整体に近いイメージかもしれませんが、実はアメリカで生まれた西洋医学、東洋医学に続く第三の医療で、最近では整形外科分野の代替医療として日本でも多くの方から認められるようになってきました。

ただし、カイロは日本では国家資格ではないため、「代替医療」つまり「民間療法」という扱いになります。私どもの学校では、「患者さんの身体を施術する」のですから、基礎医学をしっかり学ばせ、技術も2年間教え込みます。しかし、日本には数週間で卒業させる学校も少なくありませんから、そこで学んだカイロ



プラクターの施術を受けた患者さんが「カイロって効果ないよね」と感じてしまう可能性は少なくありません。それは私たちにとって大きなマイナスです。また、「代替医療」の分野は多岐に渡り、整体やマッサージ等の手技のほか、漢方、サプリメント、アロマセラピー、カウンセリングから温泉療法といった様々な領域まで裾野は広がる一方で。

「代替医療」という大きな括りの中で個々のレベルを底上げすること、また、どこが一定レベルに達しているのかを患者さんが事前にわかるようなしくみを提供すること。それが目下の私のミッションです。今、「北海道代替医療協会」を立ち上げ、会員のレベルアップを実現するべく活動しています。

北海学園大学 OB 異業種ネットワークに参加しませんか?

数年前、新たなクリニックの開設に当たり、未経験の仕事をごさねばならない時期がありました。人脈をたどって相談はするのですが、その奥行きには限界があります。時間ばかり浪費し、ひどく苦勞してしまいました。

それ以前から漠然と「学園の人脈ってないのかな」と思っていたのですが、このとき改めて「北海学園卒業生の経済ネットワークが欲しい」と痛感しました。周りの卒業生に話したところ、同じ思いを抱いていた先輩や賛同してくださる方が次々と立ち上がってくださり、あっという間に「北海学園大学 OB 異業種ネットワーク」が立ち上がりました。代表世話人は小林酒造(株)の小林米三郎社長です。設立一年目のイベントでは(株)ニトリホールディングスの似鳥昭雄社長が記念講演を引き受けてくださいました。今、会員は300名ほどにまで達し、ホームカミングDAYや年末交流会、ゴルフコンペなどのイベントが立ち上がっています。興味をお持ちの方は、ぜひ入会ください。連絡方法はコチラです↓

〈連絡先〉北海学園大学 OB 異業種ネットワーク 事務局
TEL: 011-211-1875



どうせだったら知っている人と仕事をした方がいいし、仲間の中でビジネスが回れば皆が幸せになれます。いっそ、北海道の経済は北海学園大卒業生が牛耳るくらい盛り上がったらいいなと考えております(笑)。

現役学生インタビュー

北海道女子ラクロス部

泉谷 彩里さん
(経済学部地域経済学科2年)

古田 恵実子さん
(経営学部経営学科2年)

岩淵 詩央理さん
(経営学部経営学科2年)

創部20周年、新たなステージへ！ ラクロスの魅力を伝えていきたい！！

Q 学園ラクロス部、北海道における女子ラクロスの現状は？

岩淵 北海道でラクロス部ができた最初のチームで、1994年の創部です。私たちが生まれた年なので、もう20年になるんですね。

泉谷 20周年って、誰も分かっていないかも。何かアニバーサリーをやらないといけないね(笑)。

古田 北海道学生ラクロスリーグ戦がメインの大会で、学園の他に北大、北翔大、北星学園大、藤女子大、道教大、そして酪農学園大



古田さん

と札幌学院大が合同チームで参加しています。その他に、クラブチームも参加するごさん(こおーぷん、2・3年生大会のspringingステージ、1・2年生対象のオータムステージ)や1年生大会もあります。

岩淵 北海道学生ラクロスリーグ戦は2010〜12年に3連覇したんですが、昨年は3位に甘んじ、今年は何んとかリベンジしたいです。

Q ラクロス部に入ったのは？

古田 高校まで吹奏楽部で、ずっと運動部もやりたいなと思っていました。ラクロスは大学に入らな

いとチームがないので、みんな初心者からのスタート。ラクロス部は北海道では強豪チームなので、やりがいもあります。先輩も優しく、すぐになじめました。

岩淵 私は、中、高とバスケットボールをやって満足しきったので、大学では違うスポーツをやりたいなと思って。それで、古田さん

が先に入学していて、誘われました。泉谷 体育の授業でラクロス部の4年生の先輩と一緒に、私もやってみようかなと思いました。

Q 練習はどうしていますか？

古田 平日は週2〜3回、北海道高のグラウンドを借りて朝練しています。土日は清田グラウンドで午前中、3時間程度練習しています。

岩淵 1年生は初心者なので、育成担当の先輩がついて別練習をします。4年生が引退してからは、1年生も一緒に全員で練習します。

泉谷 練習でも先輩後輩の壁がなく、コミュニケーションもしつかりととれて、風通しのいい、和気あいあいとしたチームですよ。

Q ラクロスの魅力は？

泉谷 AT(アタック)に近い攻撃的なMFなので、やはり得点を決めたときの快感は最高です。ラクロスがなによりも楽しいですね。

岩淵 守備的なMFをやっているんですが、見たこともやったこともないスポーツだったので、すべてが新しく刺激的です。



岩淵さん

古田 私はDFですが、ボールを持つたら相手陣内まで走り上がって

ていつでも自由なので、スピード感もあるし、ボールを持って走るのが好きな私にとっても合っているスポーツだなと思います。

Q 3人は全日本ユース選抜選手権に選出されましたね。

岩淵 2年生のみの北海道選抜で、学園からは私たちが3人が選ばれました。7月4〜6日、静岡のつま恋に全国7地区の選抜チームが集結。最初の総当たりリーグ戦で6位、最終日の下位リーグに回って全勝、全体の5位となりました。

泉谷 優勝した関東などは、中高からやっている人も多く、技術が正確で体の使い方もうまく、レベルの違いを実感しました。



泉谷さん

古田 北海道代表としてプレーできたのはうれしかったです。ユース選抜として恥ずかしいこととはできないし、今後チームの中心として引っぱっていかねければならぬ立場だと気を引き締めています。

Q 残りの大学生活での目標は？

泉谷 せっかく大学に入ったのだから、勉強も部活も、バイトも遊びも、全部頑張りたい。途中でガソリンが切れないように(笑)。

岩淵 来年、オーストラリアに留



東北学院大との定期戦では7-5で勝利、昨年の雪辱を果たした。

学し、1年間チームを離れませんが、向こうでもラクロスをやりたい。まずは、英語を話せるようになり、勉強もラクロスも頑張ったと胸を張っていえるようにしたいです。

古田 初めての運動部で、また体育会にも所属し、いままでにはない経験をたくさんさせてもらっています。あまり前に出るタイプではなかったのですが、自分もこういうことができるんだと気づくこともできました。これからは、いろいろなことに積極的に取り組み、いろんな人とかわり合って、自分の世界を広げていきたいですね。

岩淵 ラクロスはマイナースポーツなので、まずはいかに知ってもらうか。先輩がやってきたことを引き継いで、SNSなども活用しながら、北海道ラクロスが頑張っている姿を伝えていきます。

泉谷 入部はいつでも大歓迎。3連覇したときのような、強いラクロス部をつくっていききたいですね。

北海学園大学同窓会「豊平会」

結成60周年記念式典

日時 平成26年10月25日(土)
[受付]15:30~ [式典]16:00~17:00

会場 札幌パークホテル 3階「エメラルド」
札幌市中央区南10条西3丁目 TEL 011-511-3131

PROGRAM

司会 松沢 秀明

- 1. 開式の辞 副会長 関 寛
- 2. 式 辞 会 長 森本 正夫
- 3. 祝 辞 学 長 木村 和範 様
- 4. 感謝状贈呈 支部表彰、支部長表彰、評議員表彰、役員表彰、特別表彰
- 5. 閉式の辞 副会長 宮本 雅次

総 会

日時 平成26年10月25日(土)
[受付]17:30~ [総会]18:00~18:30

会場 札幌パークホテル 3階「パークホール」

PROGRAM

司会 佐藤 のりゆき

- 1. 開 会 副会長 関 寛
- 2. 挨拶 会 長 森本 正夫
- 3. 会務報告 事務局長 高田 哲也
- 4. 支部長紹介
- 5. 閉 会 副会長 宮本 雅次

祝賀会 同窓の夕べ (懇親会同時開催)

日時 平成26年10月25日(土)
[懇親会]18:30~20:30

会場 札幌パークホテル 3階「パークホール」
司会 森 基誉則・吉野 圭子・青山 千景

※詳細につきましては左頁(9頁)をご参照ください。

北海学園大学同窓会「豊平会」

総会・祝賀会・懇親会

同窓の夕べ

人生意気に感じては



日時 平成26年10月25日(土)

- 受付/17:30~ ●総会/18:00~18:30
- 祝賀会・懇親会/18:30~20:30

会場 札幌パークホテル 3階「パークホール」(着席制・会場内禁煙)

札幌市中央区南10条西3丁目 TEL 011-511-3131

会費 6,000円(記念品含む)

会券のお求めについて

大丸プレイガイド、道新プレイガイド、北海学園生協書店 G'bookS レジカウンター(教育会館2階、通常営業時間:月~金/10:00~18:30、土/10:00~13:30、日祝/閉店。*学事によって営業時間が変更されることがあります。)にて販売いたします。また、卒業期評議員、地域・職域支部評議員、各学部世話人、協力団体、同窓会事務局へお問い合わせください。

会券発送ご希望の方は、下記金融機関にて代金をお振込みいただき(振込手数料についてはご負担願います)、ご入金確認後、発送いたします。

- ・ゆうちょ銀行 二七九店 口座番号/当座0011355 受取人名/北海学園大学同窓会事務局
- ・北洋銀行 豊平支店 口座番号/普通0511055 口座名/北海学園大学同窓会

詳しくは同窓会事務局へお問い合わせください。

●申込み・問合せ先

北海学園大学同窓会事務局

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40
 TEL(011)841-1161(代) 担当/三宅(内線1148)・工藤(内線1168)
 FAX(011)816-1001
 E-mail: doso.hgu@k8.dion.ne.jp
 平日/9:00~17:00(昼休み12:00~13:00)
 土曜/9:00~12:00



お楽しみイベント

《賛助出演》

- 北海学園大学 よさこいソーラン チーム絆~IKI~演舞
- 北海学園大学 吹奏楽団演奏
- 「今昔演舞台戦」応援団 vs チアリーダー、吹奏楽 etc
- 学園グレイトピンゴ 海外ペア旅行、温泉ペア宿泊券、自転車など豪華景品が多数!



支部紹介

静内支部

北海学園大学同窓会「豊平会」の各支部を紹介します。
平成5年に日高管内の同窓生で組織された地域支部です。

創立：平成5年

〈会長〉

増本 裕治 (ますもと ゆうじ)
S48卒 経済学部経済学科
不動産賃貸業



増本 裕治 会長

〈副会長〉

田代 芳嗣
S49卒 経済学部経済学科
新ひだか町社会福祉協議会

〈副会長〉

大森 康正
S54卒 経済学部経済学科
学校法人マーガレット学園 理事長

〈幹事長〉

本庄 康浩
S54卒 経済学部経済学科
新ひだか町 副町長

会員数：約40名

連絡先：〒056-8650

日高郡新ひだか町静内御幸町3丁目2番50号
新ひだか町役場内 本庄康浩(幹事長)
TEL/0146-43-2111

▶支部創設

日高管内では、自営、企業、団体、官公庁等、様々な職種で卒業生が活躍しています。しかしながら、平成になってからも、日高管内に支部は皆無。静内町（現新ひだか町）は、町村では2万4千人を超え比較的人口規模は大きい町なのですが、各種会合等では、顔なじみの同級生、同窓生が関わる場面も。また、職場を同じくすることもあり、交流の場を求めて地域に同窓会支部創設を願う声が多くなりました。

当初の支部創設構想はとても大きく、オール日高、管内9町全域を一つの支部として発足することができないかとの検討から始まりました。東のえりも町から西の日高町までの距離は200km。ほぼ中央に位置する静内町に参集するには、遠い町からは車で2時間以上かかりますので、結局、気軽に集まれる範囲でとの結論。新冠町と静内町在住者による仲間内での静内支部が発足したのは、平成5年のことでした。

当初の会員は、昭和31年卒の岡村弘氏、同48年卒で支部長の増本裕治氏をはじめ10名程度でしたが、その後、大先輩である同30年卒の東晃氏も参加し、同窓会規則制定などを終えて支部組織として正式に認められた平成15年には30名を超えるまでに成長。特に近年は女性会員が毎年のように増え、管内唯一の支部ということもあるからなのか、40km離れた日高町からの参加もあり、1割を占めるまでになりました。現在の会員番号は50番台に達しており、転勤などでの欠番もありますが、それでも実人数は40名を超えていて、町内の支店勤務の方や、新たに就職した20代の参加もあり、異業種交流の場としてにぎやかになってきています。町内には、卒業生がまだまだおられるとの情報もありますので、同窓会への参加を呼び掛けているところです。

▶総会

定例会は、6月、9月、12月、3月の年4回で、6月には総会を兼ねて開催しています。第1金曜日、午後6時30分に同一の場所で開催していますので、連絡がつかなかったときでも、参加しやすいように心がけています。発足当時、4、5人しかいなかった時期もあった定例会は、女性会員の参加が多くなった影響なのか、最近では20名を超えることも多くなり、20代から70代まで幅広い年齢層が集い、毎回のように当時の学生生活やサークル活動の話で盛り上がり、益々活発になっていきますし、年1回開催の支部が多い中、3ヵ月毎の開催と回数は多いものの参加率は高いものとなっています。



平成26年度 静内支部総会

▶これからの活動

毎年計画している事業活動の中には、地域の特色であるサラブレッド日本一の生産頭数を誇る日高管内を応援すべく、日高町にある門別競馬場でのホッカイドウ競馬応援ツアーを企画するものの、団体行動は苦手なのか個人参加のみにとどまり、同窓会行事としては実現に至らないなど、ほとんどが計画倒れ状態で、何か一工夫が必要な感じの同窓会です。

新ひだか町には、日本を代表する桜の名所として「日本の道百選」「北海道二十景北の彩時記」「さくら名所百選」「北海道遺産」などに選ばれている3000本の桜が咲き誇る直線7kmの日本一の桜並木「静内二十間道路桜並木」があり、5月にはこの美しい桜をひとめみようとして全国各地から毎年20万人もの花見客が詰めかけます。また、日本中を湧かせた新ひだか生まれの駿馬たちの多くは、故郷に戻り、種牡馬や繁殖牝馬として暮らしていますので、往年の名馬を訪ねる熱心な競馬ファンも少なくありません。「涼夏小雪の郷」、「風かおる 優駿王国 新ひだか」のキャッチフレーズで躍進を図る町で、会員一同、仲よく楽しく、地道に社会貢献をめざし活動を続けています。



しずない桜まつり



日本屈指の桜並木、二十間道路



優駿

支部だより

支部総会



千歳支部



山岳部 OB会



グリークラブ OB会



岩見沢市役所支部



小樽支部



写真部 OB 北彩会



江別市役所支部



経六期会



関西支部



サッカー一部 OB会



北翔会



道南支部



経五期会



札幌東区支部



東園会

支部総会開催報告

(平成26年4月以降)

- | | | |
|-----------------|-----------------|---------------|
| 4.17 千歳支部 | 5.20 北海学園大学支部 | 6.29 蝸牛会 |
| 4.19 山岳部 OB会 | 5.30 江別市役所支部 | 7. 4 経五期会 |
| 4.26 苫小牧支部 | 6. 6 静内支部 | 7. 9 札幌市役所支部 |
| 4.26 グリークラブ OB会 | 6. 6 経六期会 | 7.17 札幌東区支部 |
| 5. 9 岩見沢市役所支部 | 6. 7 関西支部 | 7.24 東園会 |
| 5.10 小樽支部 | 6.14 サッカー一部 OB会 | 8. 2 北門会夏季研修会 |
| 5.10 帯広信金支部 | 6.26 北翔会 | 8.23 空知支部 |
| 5.17 写真部 OB 北彩会 | 6.27 道南支部 | |



札幌市役所支部

主催 北海学園大学・北海学園大学同窓会

第7回 ホームカミングデー

* 予約不要 *

2014年10月11日(土)

| | | | |
|----|-------------|------|--|
| 受付 | 9:30~13:00 | 受付場所 | 7号館1階 エントランス |
| 開催 | 10:00~14:30 | 会場 | 北海学園大学 豊平キャンパス 地下鉄東豊線「学園前」駅下車3番出口直結 |

北海学園大学のホームカミングデーは、卒業生・ご家族・一般の方も参加頂けるイベントです。この機会にぜひお越しください!!



※学内には駐車場がございません。公共交通機関をご利用ください。

学園かえるカフェ

社会や世界に目を向けると
いつもの商品、いつもの社員が輝きだす!

BOP ビジネス入門

話し手: 菅原秀幸 (経営学部教授)
聞き手: 平野 研 (経済学部准教授)
進行: 樽見弘紀 (法学部教授)



BOP 研究の日本の
拠点はなんとここ、
学園でした。

*BOPはいま、貧困問題を
ビジネスで解決する手法として
大きな注目を集めています。

- 時間 / 10:00~12:00
- 場所 / 7号館2階 D20番教室

当日は会場でフェアトレードの美味しいお菓子と
コーヒーをサーブさせていただきます。
(数量に限りあり)



北海マルシェ

- 時間 / 11:30~13:00
- 場所 / 7号館前特設テント

学園大OBによる 産直野菜・果物即売会

江別産朝採り野菜 余市産朝採り果物

じゃがいも、人参、玉ねぎ、大根、ブロッコリー、りんご、ぶどう、梨 ほか
新鮮な秋の味覚を市価よりも安く販売いたします。
(天候により商品が変更になる場合がございます、予めご了承ください。)

無料カイロ施術

- 時間 / 10:00~16:00
- 場所 / 生協食堂スペース

昨年、一昨年と大好評でしたカイロ
施術を今年も日本カイロプラク
ティックドクター専門学院札幌校の
協力で無料にて提供いたします!!



学食 de ランチ

- 時間 / 12:00~14:30
- 場所 / 生協食堂

今年もご来場のみなさまに当日学食でご利用いただける
食事券を配付いたします。

[食事券配付] 7号館1階受付
[配付時間] 9:30~13:00



写真部 OB 北彩会写真展

10月11日~13日(3日間)

- 時間 / 11:00~17:00
- 場所 / 1号館1階
入試部前スペース

今年も3日間開催いたします。



OPEN SPACE

オープンスペース

準 YOSAKOI ソーラン大賞受賞

第23回 YOSAKOI ソーラン祭り(6月4日～8日)において本学の「粋～IKI～北海学園大学」チームが見事に準 YOSAKOI ソーラン大賞を受賞しました。今年の演舞テーマは「高鳴るこの響き」で、踊り子全員が鳴子を持ち、チー

ム全員での息のあった振り、そして神輿を3基同時に登場させるなど躍動感溢れる演舞を見せてくれました。10月25日開催の「同窓の夕べ」でも演舞を披露してくれますので是非お楽しみください。



町長選で再選

平成26年8月19日に余市町長選挙が告示され、北海学園大学経済学部を昭和53年に卒業の嶋保氏が、2選を果たしました。

同窓会結成60周年記念事業について

記念誌刊行：仕様 A4判変型 約100頁
平成27年3月末(予定)

平成16年度に刊行された『50周年記念誌』以降の、10年間のあゆみを中心にまとめた内容となります。

支部短信

釧路支部：甲子園出場の武修館高校野球部(釧路市/小林正人監督：本学OB平成22年人文学部卒業)に金50,000円を寄付した。

蝸牛会：北海学園大学同窓会結成60周年記念に対し、金20,000円を寄付した。

60周年記念誌掲載用に情報提供を!

2015年3月末の刊行予定で60周年記念誌の制作が進んでおります。現在政界で奮闘しておられる同窓生の道議会議員と市議会議員の声も記念誌に掲載していく予定ですが、個人情報保護法のこともあり同窓会事務局として全員の把握は難しい状況となっております。皆さまの中で、道議や市議をされている同窓生の情報をお持ちでしたら、同窓会事務局までご一報をお願いいたします。

また、7万8千名を超える同窓生が日本全国、世界各地で活躍しています。珍しい取り組みをされている方などの情報につきましてもお寄せください。ご協力をお待ちしております。(情報提供締切日2014年10月末日)

図書館ご利用の方へ

図書館本館 施設改修工事について
工事期間 平成26年8月8日(金)～平成26年9月30日(火)

図書館本館の施設改修工事(1～3階)のため、1階自由閲覧室と2階及び3階閲覧室はご使用できません。

資料の貸出・返却は可能です

2階サービスカウンターは午前9時～午後10時までご利用できます。一部資料はご利用できませんが、開架・閉架資料はご利用可能です。

平成26年度下半期支部総会予定(平成26年9月～平成27年3月)

| | 支部総会(予定) | 場所 | 連絡先 |
|-----|--|--|------------------------------------|
| 9月 | 稚内支部(9/17) | いわ木旅館 | 事務局長 工藤 浩一 |
| 10月 | 東京支部首都圏会(10/3) 会計学友会 経八期会(10/25) | ザ・マグナス TOKYO 北海学園大学 北海学園大学 | 支部長 岩井 久則 事務局長 桜田 久 会長 中鉢 光次 |
| 11月 | 根室支部(11/15) 旭川支部(11/下旬) | ホテルマルエー温泉 未定 | 事務局 石田 和仁 支部長 齋藤 昂一 |
| 12月 | 釧路支部(12/6) | 釧路プリンスホテル | 支部長 花井 啓司 |
| 1月 | 豊陽会(1/8) 北門会(1/8) | 市立札幌大通高等学校 (懇親会 ロイトン札幌) 市立札幌大通高等学校 (懇親会 ロイトン札幌) | 事務局長 渡邊 啓 事務局長 山崎 誠 |
| 2月 | 木端会(2/20) | ホテルモントレエーデルホフ札幌 | 事務局長 濱川 俊久 |
| 3月 | 道庁支部 | KKRホテル札幌 | 幹事長代理 根津 渉 |

平成26年度 事業計画

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

本会の目的を達成するため、次の一般事業活動を展開するとともに、継続中の特別事業の学園創基・大学創立及び本会結成を記念した事業を継続推進する。

I. 一般事業

1. 会報の発行

豊平會報第73号・第74号を発行し、会員に送付する。
また、予備会員である在學生にも配布する。

2. 支部などの連携強化

地域支部・職域支部・同期会・クラブOB会などと連携を深め、支部活動や同期会・OB会活動を活性化するとともに、要請がある場合は「個人情報保護法」に基づき利用目的を明示したうえで会員の住所等の提供をおこない、支部支援を図る。

3. 新入会員名簿の作成

平成26年度新入会員(平成27年3月・平成26年9月卒業)名簿の作成、また、配付については、個人情報保護法との関連で見合わせる。

4. 新入会員歓迎会の開催

平成26年度新入会員歓迎祝賀会を、大学院・大学の卒業証書・学位記授与式(3月21日(土・祝))終了後、大学・学生自治会と共催で開催する。

5. ホームカミングデーの開催

同窓会・大学共催によるホームカミングデーを、10月11日(土)開催する。(7回目)

6. 総会・懇親会の開催

本年度総会担当の世話人会を経済学部1部経済学科40期(平成5年卒)・47期(平成12年卒)同経営学科28期(平成8年卒)・33期(平成13年卒)・経済学部2部経済学科34期(平成2年卒)同経営学科22期(平成2年卒)・法学部1部29期(平成7年卒)同2部29期(平成7年卒)・工学部土木工学科29期(平成12年卒)・建築学科29期(平成12年卒)・電子情報工学科18期(平成20年卒)・人文学部1部日本文学17期(平成25年卒)・同英米文化学科17期(平成25年卒)同2部日本文学17期(平成25年卒)同2部英米文化学科17期(平成25年卒)及び体育会本部OB会、体育会OB連合会、文化協議会OB会、応援団OB会、クラブOB会、ゼミOB会、地域・職域支部等の協力により、10月25日(土)総会を開催する。

7. 母校行事への協力

予備会員である在學生及びクラブの活動に対して助成をする。

十月祭等の学校行事を通じて、在學生との交流を促進する。

II. 特別事業

1. 本会結成60周年記念事業推進のため、本年度100万円を積み立てる。
2. 学園創基・大学創立及び本会結成を記念した国際交流基金造成事業として、北海学園国際交流基金へ寄付を継続してきたが、近年運用果実が期待できないため、北海学園が同基金を取り崩し、学園設置校の国際交流教育活動への効果的な支出ができる国際交流教育振興引当特定預金とすることとなった。本会としては引き続き国際交流事業を継続し、今年度100万円を国際交流教育振興引当特定預金に寄付する。(25回目)
3. 総合名簿作成事業積立金として、今年度20万円を加算積み立てる。
4. 平成2年より継続中の(仮)奨学・特別表彰積立基金は目標額(2,500万円)に達し、目標額を1億円および名称を教育支援積立基金と変更して事業を継続してきたが、近年運用果実が期待できず、また長引く経済不況で就学する学生にとって厳しい状況が続いているため、同窓会が同基金を取り崩し北海学園大学生の教育活動へ効果的な支出ができる教育支援特定預金とした。今年度100万円を加算積み立てる。
5. 本会結成60周年を記念した、記念式典・祝賀会等を10月25日(土)開催する。
6. 大学・同窓会のオリジナルグッズ等について、小委員会で検討の上、作成作業を進める。

平成25年度 事業報告

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

1. 一般事業

1. 豊平會報の発行

| | | | |
|-----------|-------|----------|-------------------------------|
| 豊平會報 第70号 | 送付 | 25. 4.14 | 経・営・法・人・工学部の住所確定会員40,582名に送付 |
| 豊平會報 第71号 | 印刷・送付 | 25. 9.10 | 経・営・法・人・工学部の住所確定会員41,602名に送付 |
| | | 25. 9.30 | 新会員(25年9月卒)本年度卒業の新会員116名に配布 |
| 豊平會報 第72号 | 印刷・配布 | 26. 3.21 | 新会員(26年3月卒)本年度卒業の新会員1,807名に配布 |

また、予備会員である在學生(1年～4年)にも配布した。

2. 支部等との連携強化と育成(支部等活動状況～同窓会本部に連絡のあった分)

| | | | |
|----------|--------------|----------|-------------------|
| 25. 4.11 | 千歳支部総会 | 25. 7. 2 | 東園会総会 |
| 25. 4.20 | グリーンクラブOB会総会 | 25. 7. 3 | 札幌市役所支部総会 |
| 25. 4.20 | 山岳部OB会総会 | 25. 7. 5 | 北見支部再開準備会 |
| 25. 4.27 | 苫小牧支部総会 | 25. 7.18 | 札幌東区支部総会 |
| 25. 5.17 | 岩見沢市役所支部総会 | 25. 7.27 | 空知支部総会 |
| 25. 5.18 | 小樽支部総会 | 25. 8. 3 | 北門会夏季研修会 |
| 25. 5.21 | 北海学園大学支部総会 | 25. 9.12 | 稚内支部総会 |
| 25. 5.24 | 北翔会総会 | 25. 9.14 | 経三期会総会 |
| 25. 5.24 | 江別市役所支部総会 | 25. 9.19 | ゆうほう会総会 |
| 25. 5.25 | 写真部OB北彩会総会 | 25.10. 4 | 東宮支部同郷会総会 |
| 25. 6. 5 | 経五期会総会 | 25.10.26 | 会計学友会総会 |
| 25. 6. 6 | 経六期会総会 | 25.10.26 | 経八期会総会 |
| 25. 6. 7 | 静内支部総会 | 25.11.16 | 根室支部総会 |
| 25. 6. 7 | つうげん支部総会 | 25.11.22 | 旭川支部総会 |
| 25. 6. 8 | 関西支部総会 | 26. 1. 9 | 豊陽会総会 |
| 25. 6.15 | サッカー部OB会総会 | 26. 2. 1 | 応援団OB尚志会総会 |
| 25. 6.22 | 帯広信用金庫支部総会 | 26. 2.15 | 北社会総会(工学部社会環境工学科) |
| 25. 6.28 | 道南支部総会 | 26. 2.21 | 本端会総会(工学部建築学科) |
| 25. 6.30 | 鶴牛会総会 | | |

3. 新会員名簿の作成(豊平會名簿 平成25年度版)

平成25年度新入会員(平成25年9月卒業・平成26年3月卒業)名簿を作成し、なお、配布については、平成17年4月施行の「個人情報保護法」の取り扱いとの関係で、見合わせる事とし、慎重に対応していく事とした。

4. 新会員歓迎パーティの開催

26. 3.21 卒業証書・学位記授与式終了後、新会員(1,807名)を招き大学・学生自治会と共催で、午後2時より札幌パークホテルB2Fパークプラザで、役員・支部長・評議員(卒業期・地域・職域)が出席し、卒業祝賀会を大学・学生自治会と共催で開催した。

5. ホームカミングデーの開催

25.10.12 同窓会・大学共催による第6回ホームカミングデーが開催された。「第1回『学園かえるカフェ』」(山田航と叫ぶ!)短歌(歌人・大学院文学研究科修士2名)、聞き手:大石和久 人文学部教授・小島康次 経営学部教授・田中綾 人文学部准教授・進行:樽見弘記 法学部教授、「北海マルシェ」(産直野菜果物市場)・OB異業種ネットワークの協力支援により日本カイロプラティック大学専門学院札幌校の生徒による「無料カイロ施術」、写真部OB北彩会による「写真展」、学生食堂を開放しての昼食の無料提供サービス等を実施し賑わった。

6. 「総会・懇親会」の準備・運営

| | | | |
|------------|-------|----------|--|
| 当幹事会 | (第1回) | 25. 7.26 | (1)「ホームカミングデー」開催の件について (2)「全国支部長会議」開催の件について (3)「同窓の夕べ(総会・懇親会)」開催の件について (4)その他 |
| 世話人・協力団体会議 | (第1回) | 25. 8.20 | (1)「同窓の夕べ」開催の件について (2)会券の配付について |
| 総会・懇親会 | (第2回) | 25. 9.19 | (1)「同窓の夕べ」開催の件について 「札幌パークホテル」3F パークホール |

7. 母校行事への協力

お祝いの看板(祝入学) 各団体への経費助成

8. 会務運営に関する諸会議

| | | | |
|------------|-------|----------|---|
| 幹事会 | (第1回) | 25. 5.20 | (1)平成24年度事業報告及び決算について (2)監査報告について (3)その他 |
| 幹事会 | (第2回) | 25. 6. 5 | (1)平成25年度事業計画(案)について (2)平成25年度予算(案)について (3)60周年記念事業について (4)その他 |
| 評議員会 | | 25. 6.25 | (1)平成24年度事業報告並びに収支決算の承認 (2)平成25年度事業計画(案)及び予算の承認 (3)60周年記念事業について (4)その他 |
| 幹事会 | (第3回) | 25. 9. 4 | (1)平成25年度「総会・懇親会」開催の件について (2)「同窓の夕べ」会券配付について (3)「ホームカミングデー」開催の件について (4)「全国支部長会議」開催の件について (5)その他 |
| 幹事会 | (第4回) | 26. 1.16 | (1)「全国支部長会議」終了広告 (2)平成25年度「同窓の夕べ」(総会・懇親会)終了結果報告について (3)「第6回ホームカミングデー」終了報告 (4)平成25年度「卒業祝賀会」開催の件について (5)教育支援振興資金(奨学金)の件について (6)その他 |
| 常任幹事会 | (第1回) | 25.12.13 | (1)〈特別事業〉教育支援振興資金(奨学金)の件について (2)その他 |
| 全国支部長会議 | | 25.10.26 | (1)入試の現状について (2)支部活動について(報告・意見交換) (3)講演「高齢者介護と財源問題」横山純一法学部教授 (4)「ホームカミングデー」開催について (5)「全国支部長会議」開催について (6)「同窓の夕べ」開催について (7)その他 |
| 担当幹事会議 | (第1回) | 25. 7. 3 | (1)「ホームカミングデー」開催について (2)「全国支部長会議」開催について (3)「同窓の夕べ」開催について (4)その他 |
| | (第2回) | 25. 7.26 | (1)「ホームカミングデー」開催について (2)「全国支部長会議」開催について (3)「総会・懇親会(同窓の夕べ)」開催について (4)その他 |
| | (第3回) | 25.11. 6 | (1)教育支援振興資金について (2)60周年記念事業について (3)その他 |
| | (第4回) | 25.11.20 | (1)教育支援振興資金について (2)その他 |
| 事務局会議 | (第1回) | 25. 6.20 | (1)「評議員会」開催について (2)「ホームカミングデー」開催について (3)その他 |
| | (第2回) | 25. 9.20 | (1)「同窓の夕べ」開催について (2)「全国支部長会議」開催について (3)その他 |
| | (第3回) | 25.10.18 | (1)「同窓の夕べ」開催について (2)「全国支部長会議」開催について (3)その他 |
| | (第4回) | 26. 3.17 | (1)「卒業祝賀会」開催について (2)その他 |
| 会報部会 | (第1回) | 25. 6. 4 | (1)「豊平會報」第71号発刊について (2)その他 |
| | (第2回) | 25.11.29 | (1)「豊平會報」第72号発刊について (2)その他 |
| 記念誌委員会 | (第1回) | 25. 6.26 | (1)60周年記念誌発刊について (2)今後の取り進め方について (3)その他 |
| | (第2回) | 25. 7.17 | (1)60周年記念誌発刊について (2)今後の取り進め方について (3)その他 |
| | (第3回) | 25. 8.21 | (1)60周年記念誌発刊について (2)今後の取り進め方について (3)その他 |
| | (第4回) | 25. 9.27 | (1)60周年記念誌発刊について (2)今後の取り進め方について (3)その他 |
| 式典祝賀会委員会 | (第1回) | 25. 8. 5 | (1)60周年式典・祝賀会について (2)今後の取り進め方について (3)その他 |
| 式典祝賀会合同委員会 | | 25.12.17 | (1)「式典・祝賀会」・「記念誌」の件について (2)今後の取り進め方について (3)その他 |
| 学生部・事務部と協議 | | 26. 2.25 | (1)卒業祝賀会の件について (2)その他 |

II. 特別事業

1. 本会結成60周年記念事業推進のため本年度400万円を積立した。
2. 学園創基・大学創立及び本会結成を記念した国際交流基金造成事業と北海学園国際交流基金へ寄付を継続してきたが、運用果実が期待できないため北海学園が同基金を取り崩し、国際交流教育振興引当特定預金とすることとなったが、本会としては引き続き、国際交流事業を継続し、100万円を北海学園国際交流教育振興引当特定預金に寄付した。(24回目)
3. 総合名簿作成事業積立金として、今年度20万円を加算積立した。
4. 平成2年より継続中の(奨学・特別表彰積立基金は、目標額(2,500万円)に達したが、目標額を10,000万円および名称を教育支援積立基金と変更して事業を継続してきたが、近年運用果実が期待できず、また長引く経済不況で就学する学生にとって厳しい状況が続いているため、同窓会が同基金を取り崩し、北海学園大学生の教育活動へ効果的な支出ができる教育支援特定預金とすることとした。
5. 大学・同窓会のオリジナルグッズ等について、小委員会で検討の上、作成作業を進めた。

平成25年度 収支決算書

北海学園大学同窓会 平成25年度 収支決算書

自:平成25年4月1日 至:平成26年3月31日(単位:円)

Main financial statement table for Heiwa Gakuin University Alumni Association, 2013. It includes sections for 'General' (一般会費), 'Special' (特別会費), and 'Business' (特別事業) with detailed sub-accounts and amounts.

- 1. 一般会費 ¥12,286,899(北洋銀行・普通預金)
2. 特別会費(手続費) ¥122,775,000(北洋銀行・定期預金22年～25年) 予備金受取利息・積立 ¥22,117(北洋銀行・普通預金)
3. 特別会費(特別事業) ¥59,557,800(教育支援特定預金積立・総合名簿作成事業積立・60周年記念事業積立(北洋銀行・定期預金))

監査報告書

北海学園大学同窓会 会長 森本 正夫 殿

平成26年5月12日

私ども会計監事は、北海学園大学同窓会の平成25年度(平成25年4月1日～平成26年3月31日)収支決算書について監査を行った結果、下記の通り報告致します。

記

- 1. 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、収支決算書の記載と合致していることを認めます。
2. 金銭出納簿、その他会計関係諸記録は、その状況を正しく示していることを認めます。
3. 事業計画に基づき業務遂行がなされ、また、幹事会も適切に運営・実施されていることを認めます。

以上

監事

氏名 横谷 貞夫

監事

氏名 櫻田 入

監事

氏名 高岡 昌和

平成26年度 予算

北海学園大学同窓会 平成26年度 予算

自:平成26年4月1日 至:平成27年3月31日(単位:円)

Budget statement table for Heiwa Gakuin University Alumni Association, 2014. It mirrors the structure of the 2013 statement, showing projected income and expenses across various categories.

クラブ・サークル活動通信

卒業生、サークルOB・OGの皆さん、 応援よろしくお祈りします！

【男子ラクロス部】 主将 飯原 駿 法学部4年



男子ラクロスは、「地上最速の格闘球技」と称されるほど激しいスポーツです。サッカーと同じくらいのフィールドで行われ、ゴールは一辺 1.8m の正方形で、テニスボールより一回り小さいボールを多く入れたチームが勝つという単純明快なスポーツです。しかし男女ラクロスでは決定的に違うことがあり、それは装備の面です。女子は基本的に防具をつけませんが、男子はヘルメットを着用し、上半身はほぼフル装備でプレーをします。なぜなら、そうしないと骨折などの大きな怪我を簡単にしてしまうからです。以上のように激しいスポーツではありますが、ラクロスの醍醐味はパスやシュートのスピード感であるため、激しくも可憐なところが魅力です。ラクロスは大学から始めるスポーツのため、皆多種多様な部活経験者がそろっています。

私たち北海学園大学男子ラクロス部は部員 55 名で活動しています。夏季は毎週月、水曜日は北海高校グラウンド、土日は清田グラウンドで練習をして、オフシーズンである冬季は北海学園大学体育館で練習やトレーニングをしています。目標は「北海道制覇」とその先にある「全日本学生選手権」出場です。昨年度は惜しくも北海道学生ラクロスリーグ戦で敗退し 3 位という結界に終わりましたが、今年度こそは北海道優勝、そして全国大会に値する「全日本学生選手権」出場を果たすべく、日々練習に取り組んでいます。部員一同目標に向かって精一杯頑張りますので、今後とも北海学園大学男子ラクロス部をよろしくお祈りします。

【MAPPA】 会長 佐藤 孝弘 工学部電子情報工学科3年



MAPPA は部員約 80 名で活動しています。部員の 8 割が大学から初め、ほとんど初心者です。6 年前から活動を始め、やっと昨年に公式サークルとなりました。最初は 10 人程度からスタートし、いまは 80 名という大きな規模で活動でき、さらに部員が増え、ダンスを多くの人に広められるよう練習に励んでいます。その成果もあって、今年は 2 度の北海道代表になりました。さらに、北海道代表として、初めて全国大会ベスト 8 となることができました。

MAPPA では、ブレイク、ヒップホップ、ワック、ジャズ、ロック、ポップ、ハウスと 7 ジャンルで活動しています。踊るジャンルは人それぞれですが、「ダンスを楽しむ」を目標に掲げ、色んな方法でたのしんでいます。ひたすら練習をして技術向上に励む人、大会に参加して優勝を目指す人、イベントに参加をしてダンスを広げるために活動する人とそれぞれにあった活動をしています。そんな中、MAPPA 全員が同じベクトルに向かって活動するイベントがあります。それは、MAPPA と他大学とで協力し運営、出場しているイベントで、そのイベントは毎年 8 月末に行われています。今年も 8 月末に行われるので、ぜひお越しください!!!

事務局からのお知らせ

◆訃報

大沼 三行 氏

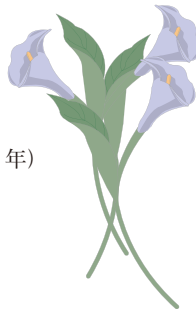
昭和 34 年経済学部卒業
同窓会幹事 (昭和 35 年～昭和 53 年)
同窓会監事 (昭和 54 年～平成 22 年)
平成 26 年 1 月 7 日逝去 (94 歳)

ジャンボ秀克(佐々木 秀克) 氏

「同窓の夕べ」「卒業祝賀会」の司会を
多年にわたり務めてくださいました。
平成 26 年 4 月 8 日逝去 (62 歳)

徳永 繁 氏

昭和 32 年経済学部卒業
写真部 OB 北彩会会長 (平成 19 年～平成 22 年)
平成 26 年 6 月 22 日逝去 (79 歳)



謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

道内探訪
vol.3 スケッチ

「ニセコから羊蹄山を望む」
中村 保忠 作

プロフィール：経済学部経済学科 昭和41年卒業
奈良芸術短期大学 洋画コース卒業
奈良市在住

住所等変更届けのお願い

会員の皆様へ、お名前、ご住所、勤務先等に変更が生じた場合は、お手数でも FAX・ホームページ、または同封の「住所等変更届ハガキ」にて同窓会事務局までお知らせ下さいませようお願いいたします。個人情報とは同窓会活動以外には使用いたしません。

北海学園大学同窓会

〒062-8605 札幌市豊平区旭町 4 丁目 1-40
TEL : 011-841-1161 (内線 1148) FAX : 011-816-1001
E-Mail : doso.hgu@k8.dion.ne.jp
ホームページ : <http://www.hgu-dousoukai.org/>